



能登やさしいこめづくり情報

平成31年3月
能登米振興協議会
能登米生産者協議会
能登南部営農推進協議会
JA能登わかば

は種編

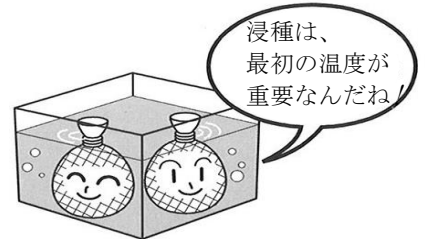
育苗日数は1か月以内！

1 浸種（浸種時の水温に注意）

◆浸種1日目の水温は、必ず10～15℃に保ってください。

- ・種子の目覚めには、浸種直後（8～24時間）の水温が重要です。
- ・低水温で浸種を開始すると、浸種期間中に水温が10℃以上になっても発芽率が低下する場合がありますので注意して下さい。

浸種時の水温（24時間）	その後の水温	発芽率
低水温（10℃以下）	10℃～15℃	×
適温（10℃～15℃）	10℃以下	△
適温（10℃～15℃）	10℃～15℃	○



◆発芽揃いを良くするため、低温での浸種（10℃以下）は行わない。

- ・浸種は、屋内や屋外の軒下（太陽の方角を考慮する）など直射日光や風が当たらない場所で実施してください。
- ・低水温や高水温（20℃以上）条件では、吸水速度にバラツキが生じ、発芽が揃わない原因となるので注意してください。

◆酸素欠乏を避けるため、浸種水量は種籾の2倍以上とし、2日に1回程度水を交換。

※薬剤吹付済種子は、最初の3日間は水を交換しないでください。

【種籾に対する水量】

種籾重量	3kg	5kg	10kg	15kg	20kg	40kg
水量(リットル)	6	10	20	30	40	80

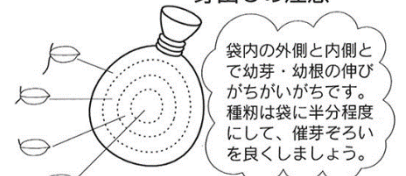
◆浸種の積算温度（水温×浸漬日数）は100℃以上

- ・浸種期間は積算温度で100℃を確保してください。浸種期間が不足すると発芽が不揃いになる場合があります（飼料用米は80℃程度）。
- ・浸種期間中は籾の状態をよく観察してください。終了の目安は、籾殻の上から胚が白く透けて見えるようになった頃です。

【表】浸種日数の目安

水温	浸種日数
10℃	10日
15℃	7日

芽出しの注意



ハト胸

2 催芽（必ず実施して発芽を揃える）

- ・催芽では発芽に最適な温度を与え、発芽を揃えましょう。
- ・芽は1mm以上伸ばさないようにしましょう。

水温	催芽程度	催芽日数	注意事項
30℃	鳩胸～ 1mm未満	1日～ 1日半	<ul style="list-style-type: none"> ・芽を伸ばしすぎると、は種ムラの原因となります。 ・芽が伸びすぎた場合は冷水に浸し、伸長を止めてください。

伸びすぎ



3 は 種（田植えの予定にあわせて計画的に）

◆は種日は田植え予定にあわせて設定し、健苗育成に努めましょう。

- ・田植えの予定より早い種は育苗期間が長くなるため、老化苗となります。
- ・5月中旬以降の種は、育苗期間が高温のためヤケ苗、徒長苗になりやすくなります。

【表】田植え予定日と適正な育苗日数の目安

田植時期	5月 1日	5月 5日	5月10日	5月20日	5月30日
浸 種	3月25日	3月30日	4月 5日	4月22日	5月 3日
播 種	4月 5日	4月 9日	4月16日	5月 2日	5月13日
田 植	5月 1日	5月 5日	5月10日	5月20日	5月30日
育苗期間	27日間	27日間	25日間	19日間	18日間

◆品種ごとの種量の目安について。

- ・大粒品種は播種量が多くなりますので播種機の設定には気をつけてください。
- ・高密度は種育苗技術（密苗など）は、専用の田植機又はアタッチメントが必要です。通常の田植機で厚播きの苗箱を使うと植付け本数が過剰となり、品質が低下します。

品 種	乾籾重 (g/箱)	催芽籾重 (g/箱)
コシヒカリ	120	156
ゆめみづほ	120	156
ひやくまん穀（大粒）	145	189
ホシアオバ（飼料用米・大粒）	156	203
夢あおば（飼料用米・大粒）	145	189



◆床土量やかん水量は、使用する培土に合わせましょう。

- ・J Aで取扱う軽量型培土は、従来品と比べ床土量・覆土量・かん水量が異なります。
※ 適切な使用方法については最寄りのJ Aまでお問合せください。
- ・苗立枯病を防ぐため、「ダコニール1000」の500～1,000倍液を箱当たり500ml 散水処理してください。

4 出 芽（高温出芽による徒長・病害の発生に注意）

◆出芽器を用いた加温出芽では適温の30℃に設定しましょう。

- ・芽を伸ばし過ぎると、軟弱で病気に弱くなります。※芽に光をあてると伸長を止められる。
- ・32℃以上の高温になるとリゾプス菌などが繁殖し苗立枯病の原因となります。

【表 加温出芽の目安】

出芽温度	出芽日数	芽の長さ
30℃	2～3日	8～10mm程度

◆無加温出芽（平置き出芽）では出芽揃いまで保温資材で被覆保護しましょう。

- ・保温資材で昼夜被覆し、高温日には30℃以下になるようハウス換気を行う。
- ・およそ5日程度で出芽が終了します。その後は慣行の緑化作業を行って下さい。

「5つの1か月対策」は水稻の生育期間中の水管理を中心とした管理対策を、1か月ごとに区切り整理したもので、高品質と安定収量の確保に必要な「基本技術」のため必ず実践しましょう。

【1】育苗日数は、1か月以内 ← 今回のポイント